

～ 導電印刷 ～

特徴

導電インキを使用して、スクリーン印刷で回路パターンを形成することができます。インキの顔料の代わりに導電性フィラーと呼ばれる導電性の微粒子を使用することで電気を流すことのできる回路パターンを形成することができます。

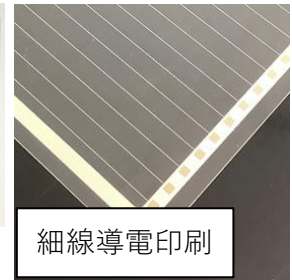
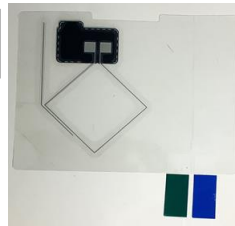
スクリーン印刷を用いることで

- ・ 様々な基材に対応可能
- ・ 表面に凹凸があつたり曲面への印刷が可能
- ・ ニーズに合わせたインキの選択が可能
銀ペースト、カーボンペースト等…
- ・ 他の工法と比較して厚膜の形成が可能…細線パターンが可能

用途例

- ・ フィルムアンテナ
 - ・ フレキシブル基板
- その他プリントドエレクトロニクス製品

フィルムアンテナ



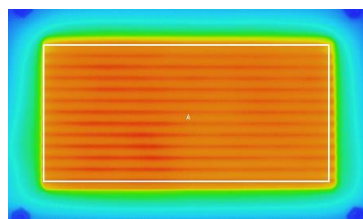
～開発品～

センサー向けフィルムヒーター

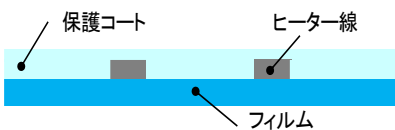
スクリーン印刷の特徴である厚膜印刷を活かして、極細線(約50 μ m)での回路パターンを形成することができます。

そのため、各種センサーの透過性を確保しつつ安定した発熱性能を発揮することができます。

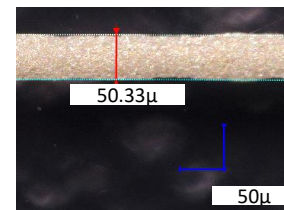
【サーモグラフ測定】



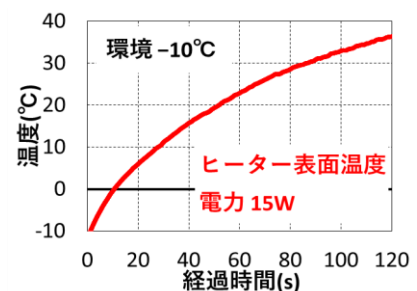
【断面構造】



【拡大画像】



【温度推移グラフ】



透明電極

シート表面に導電性を持った透明の導電性を持った薄膜を形成することで帯電防止コートや、タッチパネルやタッチセンサーの透明電極として使用できます。

※ 本カタログに記載されている数値は代表値であり、保証値ではありません